

## 日本生命杯・第5回全日本少年少女空手道選抜大会東北地区予選会実施要項

### 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 日本生命杯・第5回全日本少年少女空手道選抜大会東北地区予選会
- 2 主催 全日本空手道連盟 東北地区協議会
- 3 主管 宮城県空手道連盟
- 4 後援 (公財) 全日本空手道連盟
- 5 会場 9/20 (土) 中新田体育館 加美町一本杉 58 0229-63-5880
- 6 大会日程 9/27 (土) G21 サブアリーナ 利府町菅谷館 40-1 022-356-1122

#### 令和7年9月20日(土) 1～4年 個人形・組手

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開始式
9:15	競技開始 個人形
12:30	個人組手
18:00	競技終了

#### 令和7年9月27日(土) 5・6年 個人形・組手及び団体形競技

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開始式
9:15	競技開始 個人形・個人組手
12:30	団体形
17:00	競技終了

- 7 種目 小学生1～6年生男子・女子の組手及び形競技、各個人戦（人数制限なし）  
団体形男女（4年～6年：無制限）
- 8 参加種目 同一選手が形と組手の両種目（個人・団体）に重複し出場しても良い。

種目	形競技			組手競技	
	選手	男子	個人戦 1年～6年	団体戦 4, 5, 6年	男子
	女子	個人戦 1年～6年	団体戦 4, 5, 6年	女子	個人戦 1年～6年
監督	各団体 監督2名				
コーチ	無し				

<上位大会>令和8年2月14日(土)・15日(日) 神奈川県・横浜武道館I

※1 第5回全日本少年少女空手道選抜大会には個人種目上位4名・団体組手・形は6チームまで参加できます。団体組手は個人種目の上位4名で4チーム、ベスト8入賞者から2チーム編成し出場します。

※2 本戦の大会要項が未だ公表されていない為、団体チームが地区割6チームか各県毎1チームになるのか定かではありません。昨年と同じとして予選会を行いますが各県毎の選出になった場合は今回の団体形予選会の結果及び団体組手チームの選出は無効となり各県連毎に代表チームの選出になりますこと、ご承知おきください。

- ※3 団体組手 第5・第6チーム代表選手選出について  
個人組手第5位選手(準々決勝で敗退した4名)の中から2名選出しますので団体種目だけでは本戦、全国大会に参加しない場合は決定戦前に速やかにお申し出ください。  
(選手に確認しますので事前に団体戦のみでも出場するのをご検討ください。)
- ※4 全国大会への出場権を獲得した選手・チームは、基本的に辞退は出来ません。
- ※5 大会要項別紙の通り(個人組手・形、団体組手・形出場条件)確認してください
- ※6 出場費は各県連で対応願います。
- ※7 参加申込・参加費振込は東北地区協議会が一括で申し込みます。

- 9 競技規定
- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟<空手競技規定>により行う。  
競技規定改訂(2024年4月1日)採用
  - (2) 形競技
    - (ア) 個人戦はトーナメント方式で2名同時に行うが、決勝戦に限り1名ずつで各コートにて学年別男女別に競技する。3位決定戦は行わない。  
団体戦(4、5、6年混合任意)は1チームずつ各コートにて男女別に競技する。3位決定戦は行わない。  
なお、団体については参加チーム数によって、トーナメント方式もしくは点数方式にて実施する。
    - (イ) トーナメント方式の勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
    - (ウ) 1回戦からベスト8までは、全空連基本形(ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安、又はピンアン初段~五段)の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
    - (エ) 準決勝以上は、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記(ウ)の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
    - (オ) 団体形の分解は実施しない。
  - (3) 組手競技個人戦
    - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
    - (イ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更(短縮)せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
    - (ウ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。それでも決しない場合個人戦においては、副審の4名と主審の個々の判断に基づき、判定により勝敗を決定する。
    - (エ) 競技規定、付録10:14歳未満の空手道競技/組手試合(12歳未満)を適用する。
  - (4) 安全具
    - (ア) 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、メンホーNo.6かNo.7、ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。  
※高体連用インステップガード新製品(全空連マークと高体連マークの両方が入っている2022年新製品)は使用可能とする。
    - (イ) 小学3~6年生男子選手はセーフティカップを着装する。  
1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。

(ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。

(5) 服 装

(ア) 選手は、競技規定に則り清潔な白の空手衣を着用しなければならない。

(イ) 金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。

(ウ) 選手は、青帯・赤帯を各自用意し着用する。主催者側では準備しない。

(エ) 選手の胸マークは学校名又は県名・道場名（胸・袖とも流派・会派のマークは隠す事）であること。又、胸マークが無くても良い。袖の県名表示等は原則として規制しない。度を越え誇張するような表示であれば、審判長の判断で取り外させることができる。

(オ) 競技場内において選手につく監督・コーチの服装については、以下の通りとする。

・ダークスーツ又はジャケット・ブレザーの着用、全空連のエンブレムは不可

・スラックスは、紺又はグレー系

・ネクタイは全空連指定は紺色のみ可、紺・グレー系で派手な色合いは避ける

・ワイシャツは白色

・シューズは、派手な色合いは禁止とする（サンダルは禁止とする）

※全空連エンブレム・ネクタイについては、審判員と同じ服装を避けるため

※女性はスラックスまたはスカートでもよく、ネクタイの着用は任意とする

10 表 彰

(1) 第1位～第3位まで副賞を添えて賞状を授与し、第5位入賞者には賞状を授与する。

(2) 表彰は、競技の終了した種目から順次行う。

(3) 表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。

11 審 判 員

(1) 大会審判団は、「全空連」公認審判員をもって次により編成する。また、推薦審判員は（定年制65歳以下）とする。

(2) 主管県を除く各県は、公認全国・地区組手審判員6名を選び、9月13日（金）まで大会事務局経由で大会委員長宛て文書をもって推薦する。

(3) 主管県は(2)に記載する人数にかかわらず、大会委員長と協議し、その指示により運営上必要な人数を推薦する。

(4) 大会委員長は、各県から推薦され適当と認められたた審判員をもって、大会審判員を委嘱する。

12 安全対策

(1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。

(2) 参加選手は各自で、又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。

(3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了解ください。

(4) 監督、及び選手は、健康保険証を携行すること。

13 出場資格

(1) 選手は、全空連に未登録でも出場を認めますが、全国大会に出場が決まった選手は全空連への会員登録と公認級の取得が必要になります。

- (2) 監督は全空連会員登録者・公認段位取得済であらかじめ届出があった者とする。(20歳未満の監督は認めない)
- (注意) 各県派遣審判員が5名以下の場合、地区組手審判員資格者で65歳以下の監督は認められません。

14 組合せ抽選 (1) 実行委員会において厳正に行う。

17 宿泊等・弁当 各県連・各道場・学校で対応願います。

- 18 その他
- (1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。
  - (2) 各コートの最終点呼に間に合わない場合は、棄権と判断しますので注意すること。
  - (3) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。
  - (4) 駐車場には台数制限があります。満車の場合はショッピングモール等の駐車駐車場をご利用ください。(徒歩15分)